異動のお知らせ

平成23年5月から左京南包括でお世話になって6年半、地域の皆様には本当にお世話になりありがとうございました。様々な皆様に支えて頂いてお仕事を続けてくることが出来ました。至らないことも多く、ご迷惑をおかけした事と思います。暖かく見守って頂き、幸せでした。今後は、訪問看護の実践の中で、今までの介護保険のケアマネや、包括で経験したものを生かして利用者様に喜んで貰えたらうれしいなと思っています。左京南の地域にも訪問することになりますので、見かけたらまたお声掛けください。今後ともよろしくお願いいたします。

田中　京子

コラム　虐待への気づき

皆さん、高齢者虐待と聞いてどのような状態像が思い浮かぶでしょうか？
介護者などからの高齢者（主に６５歳以上）に対する暴言、暴力、必要な介護がなされず放って置かれたり、年金を使い込まれ、生活費に困ったり、デイやヘルパー等の介護保健サービスが使えなかったり・・・
これらの事で高齢者本人が困っていたらすぐ虐待とお分かりいただけると思いますが、ご本人に「虐待を受けている」と自覚が無くても「虐待」と認定される事もあります。
皆さんの周りにも「ちょっと心配だな・・・」と思われる高齢者がおられたら、ぜひ包括までご相談ください。（相談者の秘密は守られます）

看護師の卵　がんばっています！

今年も6月から12月の間に、近畿高等看護専門学校、京都第二赤十字看護学校、日本バプテスト看護専門学校の学生の実習を受け入れました。それぞれ短い期間でしたが公園体操や介護予防体操の体験や、訪問の同行などを実習することができました。
住み慣れた地域でできるだけ長く暮らしたい、そのために私たちは看護師としてどうすればいいのだろうか、ということを深め考えてもらえたと思います。
ご協力頂いた皆さま、ありがとうございました。

左京南包括-配-002-171201

みなみ風だより

京都市左京南地域包括支援センター通信

◇鈴木　豊子（センター長、主任介護支援専門員）　◇鍋割　哲哉（主任介護支援専門員）
◇青山　美紀（看護師）　◇日西　行雄（介護支援専門員）
◇新田　純子（社会福祉士）　◇瀬口　小百利（介護支援専門員）
◇片岡　智子（社会福祉士）

11月8日より、職員が入れ替わりました。上記の7名でみなさまとの連携をさらに高めてまいりたいと思います。今後、地域包括ケアのさらなる深化、我が事・丸ごとと言われる時代に、『最後までその方らしく暮らせる地域』をつくるため、一層、**相談しやすい包括、頼りになる包括**になるよう頑張ります。

先日、錦林小学校の5年生の総合の学習『仕事』がテーマの授業に、動物園の獣医さんや飼育係の方、不動産企業の方、なんと元シンクロのオリンピック選手、校長先生に交じって包括のセンター長のお仕事を語らせていただきました。緊張するやら嬉しいやら。地域とともに成長する『包括』を感じる瞬間でした。

第２４号　　平成２９年１２月発行
＜発行者＞京都市左京南地域包括支援センター
京都市左京区川端通り夷川上る新生洲町97番地
TEL771-6300　fax 771-6299

回覧

『認知症サポーター養成講座』を今年も開催しました！

毎年恒例の『白河総合支援学校』、『京都文京短期大学付属小学校』、『第四錦林小学校』、『錦林小学校』の４つの学校に加え、今年は『川東』、『吉田』の２つの地域で行いました。
今後もひとりでも多くの方にサポーターになっていただくべく、活動を続けて行きます。

錦林小＆白河支援

劇を通して実際の声のかけ方等を学びます

地域役員さん・ステーションの看護師さんも加わり、積極的に意見交換

地域役員さんからのお話も

文教小

高齢者体験。
不自由なことはあるかな？

地域のケアマネさんも大活躍

第四錦林小

フォローアップ研修も行っています

地域の役員さん他、住民の方も

川東

ご自宅で出張講座！

吉田

Let's study!!!

５名以上希望の方が集まれば、対象年齢等に合わせた講座をご用意します！
少しでも興味があれば、ぜひお声かけ下さい！

地域ケア会議を開催しています。

9月28日杉浦ホールにて、62名の参加でⅢ左京南圏域(吉田・聖護院・川東・新洞・岡崎)の地域ケア会議を開催しました。テーマは総合事業と支え合い活動について。前半の情報提供の後は、10のグループにわかれて、自由に「どんな支え合いや取組があったらいいかな」と話合いました。しゃべり場のお寺、多世代が気兼ねなく交流できる場所をつくる事業、あなたの夢をかなえます事業、昭和の良いところプロジェクト事業などなど・・・10のアイデアが出されました。2月には、その中からヒントをえながら、2018年度に取り組む事業をみなさんといっしょに確認していきます。

川東・新洞学区の声かけ訓練

川東

川東学区は、7月に3カ所で「認サポ」を開催し、地域の皆さんに声かけの秘訣を学んで頂き、9月9日、はじめて『声かけ訓練』を開催して頂きました。通りすがりの京都大学の男子学生さんもやさしく声かけしてくれ、認知症役の杉本民生会長も安心しましたと嬉しい笑顔。

新洞

昨年初めて開催された新洞学区は、同じ内容ではもうひとつだと言う事で、3人の認知症役の方は目印はヘルプマークのみという普通のいでたちで3コースに分かれて一足お先に出発。自由に歩き回ってもらいました。3チームが最後に決めたポイントまで、地域のお店や知り合いに尋ねながら探すという企画。最後は、川端警察の方に報告。川端診療所の看護師さんに血圧測定もしてもらいました。捜索願いを出していた妹役も一安心。

高齢者にやさしい店

10月24日高齢にやさしい店の勉強・交流会を開催しました！
講師に桜花法律事務所の弁護士中島先生をお招きし、消費者被害について学習、意見交換を行いました。
左京南圏域には、今年度新たに6店舗登録いただき、現在56店舗となっています。今後も交流会をはじめ、日常的につながって頂けるよう創意工夫していきます。
「認知症の人も安心して暮らせるまちづくり」をともに進めてまいりましょう！

『高齢者にやさしい店』って？
左京区の「高齢者にやさしい環境づくり」のひとつで、賛同いただいたお店には、主に認知症の症状や対応について学んでいただき、高齢者にやさしい店づくりに取組んでいただいています。

交流会にご参加頂いたお店
- 中井住宅設備
- 山本酒店
- 横田屋薬局
- マツダムセン
- ファンキーファーム
- 喫茶ミルキーウェイ

ステッカーが目じるし！